

授業科目名	倫理・哲学		授業形態	講義		授業科目区分		一般科目 (社会・文化・自然科学)	
担当教員名	小川 仁志					補助担当者名			
単位数	2 単位		履修年次	1		受け入れ人数		何名でも可	
授業の概要	授業の目標：哲学のあらゆる分野について一通り基礎を知り、それらの知識を使いこなせるようになる 授業の運営方法：講義を基本とするが、グループワークも取り入れる 学習の効果：哲学的思考ができるようになる								
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標		成績評価の方法				定期 試験	その他	割合 %
			授業期間						
			授業	テスト	レポート	発表			
	■認知的領域	受講者は哲学のあらゆる分野の基礎知識を修得する。				○			20
	■情意的領域	自分の人生や世の中に深いレベルで関心を持つようになる。	○						10
■技能的領域	哲学的に物事が考えられるようになる。			○				70	
成績評価の基準	成績発行の必要条件是、3分の2以上の出席率（10回以上）。成績評価の具体的基準は、授業での発表への積極的参加20点、対話への積極的参加10点、最終のレポートの成績70点。								
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：必要に応じてプリントを配布 参考書：小川仁志著『教養としての哲学』（PHP研究所）								
履修条件・ 関連科目			備考(教員メッセージ含む)		対話を重視するので、積極的参加のできる人の履修を期待します。				
オフィス・アワー									
授業計画									
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	小川 仁志	イントロダクションー哲学を学び、使うとはどういうことか？				授業関連資料に関する指導			
2	〃	西洋哲学とは何か？ー知のツールとして西洋哲学をマスターする				授業関連資料に関する指導			
3	〃	幸福論を学ぶー三大幸福論を中心に幸福に関する哲学を紹介する				授業関連資料に関する指導			
4	〃	哲学カフェ①ー「幸せとは何か？」をテーマに哲学対話を行う				授業関連資料に関する指導			
5	〃	政治哲学とは何か？ー政治哲学の基礎について概説する				授業関連資料に関する指導			
6	〃	政治哲学の実践ー政治哲学を使って課題の解決を試みる				授業関連資料に関する指導			
7	〃	日本哲学とは何か？ー日本哲学の基礎について概説する				授業関連資料に関する指導			
8	〃	日本映画に見る日本哲学ー日本映画を見て日本哲学を抽出する				授業関連資料に関する指導			
9	〃	中国哲学とは何か？ー中国哲学の基礎を概説する				授業関連資料に関する指導			
10	〃	中国哲学の名言に学ぶー中国哲学の名言を分析する				授業関連資料に関する指導			
11	〃	応用倫理とは何か？ー応用倫理の基礎を概説する				授業関連資料に関する指導			
12	〃	哲学カフェ②ースポーツ倫理をテーマに哲学対話を行う				授業関連資料に関する指導			
13	〃	現代思想とは何か？ー現代思想の基礎について概説する				授業関連資料に関する指導			
14	〃	現代思想を作るー現代思想の構築を試みる				授業関連資料に関する指導			
15	〃	アニメ哲学体験ー哲学としてのアニメを体験する				授業関連資料に関する指導			
16	〃	アニメ哲学とは何か？ーアニメと哲学の関係について考察する				授業関連資料に関する指導			